

平成 27 年度幹部職員情報交換会 開催経過について

市町村社協部会では、平成 25 年度より 2 か年、市町村社協強化プロジェクトに取り組んでまいりました。

平成 25 年度の市町村社協強化プロジェクトでは、少子高齢化の加速度的な進行、社会的孤立や生活困窮などに対応した制度動向を踏まえ、社協の関係者への理解や協働による社協の役割発揮、地域福祉の推進に向け、「かながわの社協からの提案 2014～住民が抱える生活課題の解決に向けて～」ならびに「これからの『社協の総合相談』の確実な展開に向けて」をまとめました。

平成 26 年度の第 2 次市町村社協強化プロジェクトでは、これらの成果と各社協の実践や課題を基に、社協における総合相談の実践的で効果的な取り組みの進め方について議論を深めながら、今、社協が取り組むべき事業課題とその展開や、牽引する幹部職員の育成について検討し、「『社協の総合相談』を進めるために～6つの実践事例とリーダー層職員の動きのヒント」をまとめました。

本年度は「幹部職員情報交換会」として、この 2 年間の取り組みを前提とし、制度動向や地域課題における各市町村社協の活動についての情報交換や、「行政に向けた社協のプロデュース方法」についての学習会を通し、今後の社協としての取り組み方、魅せ方について県内市町村社協職員 13 名で協議・検討を行いました。

年月日	内容等
第 1 回 27. 9. 3	①幹部職員情報交換会の進め方について ②情報交換 ③次回以降の進め方について
第 2 回 27. 11. 12	①前回の振り返り ②社協のプロデュースの方法について ③今後の進め方について
第 3 回 28. 2. 8	①前回の振り返り ②学習会「行政に向けた社協プロデュースの方法について」 講師：土屋幸己氏（公益財団法人さわやか福祉財団 戦略アドバイザー） ③意見交換 ④今後の進め方について
第 4 回 28. 3. 16	①前回の振り返り ②意見交換 ③来年度に向けて

本年度の検討内容、学習会での内容、これまでの市町村社協部会での成果物の内容等を一覧にし、さらにその中で、今取り組むべきことについて検討しました。

これまでの成果物と併せ、報告内容について各市町村社協でもご確認いただき、参考にしていただきたいと思います。

(福) 神奈川県社会福祉協議会
市町村社協部会幹部職員情報交換会

検討テーマ：行政に向けたプロデュースの強化に向けて

【特に今、取り組むべきこと】

●プロデュースの前提として大切な「人材育成」

- ・ 社協組織としての人材育成に向けた目標の共有
- ・ 「社会福祉協議会の職員」として育成するための体系的な研修の実施

●社協職員個々の「資質向上」

- ・ 組織の中での役割や位置づけ、職責の中で仕事をするという職員個々の意識
- ・ まずは各部門・社協組織としてどうしたいのか、すりあわせの必要性
- ・ 視点や大切にポイントなど、行政のことを知る努力
- ・ 先んじて制度を理解し、「社協ならこうやれる」ということを示す姿勢

●行政に向けたプロデュースにおける「見せ方」の工夫

- ・ 新たな事業だけでなく、継続してきた実績も効果の一つとして見せる
- ・ 補助金の妥当性について、人工^{にんく}計算等によって「見せる」工夫の必要性
- ・ コーディネート機能等、「黒子」の部分も客観視していくことも大切

※詳細については別表参照